昭和４０年４月５日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

２０１８年９月１日発行
第601号（通算）
発行：奇数月１日
会員購読料：１月１０円(年間６０円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
佐藤　均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730－8631
電話　082－293－1511番
振替口座01380－2－27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

「平成30年7月豪雨」の災害復興に向けて
微力ながら一助となる取り組みを

このたびの平成30年7月豪雨災害では、県内各地で多くの方が亡くなられ、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方に心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

当協会は、広範囲に及ぶ大規模な災害の復興の一助になればとの思いから、微力ながらできることについて取り組んでいますので、その内容についてご紹介いたします。

江田島市給水作業支援

株式会社水みらい広島が実施している江田島市の給水作業は、7月14日～16日の3日間、延べ9名の職員が給水作業の支援を行いました。

江田島市で給水作業の支援をする当協会職員

共助井戸の水質検査

広島県との「災害時の遊休井戸等共助利用に係る水質検査に関する協定」に基づき、7月9日から県内各市町の共助の井戸水の無償での水質検査を開始し、7月末までに487検体の検査を実施しました。水道の復旧が遅れている地域については、8月も引き続き検査を実施しました。

ボールエクササイズ

豪雨災害の被災者を対象に、エコノミークラス症候群の予防や災害復旧作業の疲労回復を目的に、オリジナルのストレッチボール（ラヴァボール）を使用したボールエクササイズを実施しています。現在は、坂町小屋浦地区の避難所を中心に実施しているところです。なお、ストレッチボールは、J・サーキット株式会社と当協会で100セットを寄贈しました。

多量の検体を検査する職員（上）
被災者支援に提供したラヴァボール（左）

士業連絡会の社会貢献に参加

日本技術士会の応援要請を受け、7月16、17、24日の3日間、各日1名の職員が安芸区のボランティア活動に参加しました。

災害復興ボランティア

災害復興にあたり、ボランティアが少ない平日を中心に1日に3～4名が交代で被災地のボランティア活動に参加しています。7月末までに延べ36名が活動に参加しており、8月もこの活動は継続して参加しました。

義援金による支援

災害復興に役立てていただくため、中国新聞社会事業団を通じて被災者へ100万円の義援金を送りました。

◇　◇

災害からの復興には長い期間が必要となりますので、当協会はこれからもできるかぎり復興に向けた支援を継続して参ります。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

7月6日を振り返って

理事長　佐藤　均

平成30年7月5・6日に恒例の環境保健夏季大学を2年ぶりにグリーンピアせとうちで開催しました。それにしても雨がよく降るなと思いながらプログラムは予定どおり進行し、1日目は無事終了しました。

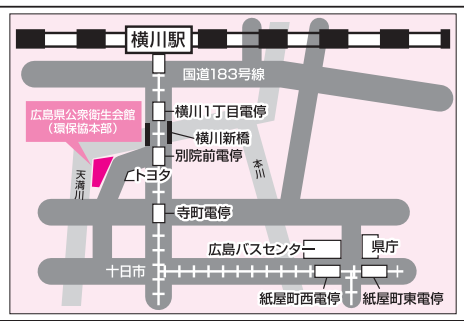
翌朝、天気予報を確認すると県内のほぼ全域に大雨警報が発令されています。講師をお願いしている中国新聞の永山さんに連絡をすると既に安浦に向かっているとのことから、講演は予定どおり行い、3時までの予定を11時半で終了することとし、帰路に際しては、呉線が既に運行を見合わせているため、JRを利用されている方には車に便乗していただきました。その後無事に着いたと各公衛協から報告を受け、まずは一安心。私も、数時間後には大変な状況になった安浦駅前、黒瀬、熊野を経由し、2時過ぎに協会に到着しました。

そして、翌日、7日未明のニュースを見て愕然としました。呉市、坂町、広島市など県内各地に大変な被害が起き、8月13日現在、死者113名、行方不明者6人、被災家屋1万7千725棟と自然災害としては広島県最大の被害となってしまいました。

当協会でも、直ちに職員の安否確認を行い、全員の無事を確認しましたが、東部支所が床上浸水し、職員3名に床下浸水と車の被害が確認されました。また、9日からの通勤困難者には、勤務免除や公用車の利用等勤務に際し無理のないよう柔軟な処置を講じました。

一方、被災地支援として、当協会の機能を発揮すべく、冒頭記載の支援を行っています。しかし、今回の災害支援に当たって、公衆衛生推進協議会として何ができるのか、何をなすべきか考えさせられました。災害に際して、社会福祉協議会などは各種団体と各行政との間で組織的に動く体制が整えられており、それぞれのセクションで機能を発揮しています。

今後、百年に一度の大雨が毎年どこかで起きる状況を考えると、公衆衛生推進協議会としても早急に、災害に際して何を果たすべきか議論し、行政当局と調整し、位置づけを明確にしておかなければならないと思います。

最後になりましたが、災害で亡くなられた方に心より哀悼の意を表するとともに、被災された方々の一日も早い復興を祈念いたします。

一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］ FAX:082(293)1520
かんほきょう 検索
基本理念 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。